

きく組の様子（No.1）

進級してすぐは、今までしたことある遊びをしたり、遊んだことのある友達と一緒にいたりすることで安心して過ごしていました。自己紹介ごっこやグループで給食を食べたり当番活動や制作をしたり、時にはゆりきくタイムで協力して遊んだりする中で、気の合う友達を見つけ、友達の輪だけではなく、遊びにも変化が見られてきました。

『転がしドッジ』をしたよ♪



ドッジボールをして遊んでいると、ボールで相手を当てることができず、保育者に相談にきました。みんなで遊び方を考えて『転がしドッジ（中当てのボール転がし遊び）』を始めたところ、今の子どもたちの状況に合っていたようで、楽しんで参加できていました。

折る過程で、「ロケットになった！」と一人が言うと、発射させる真似をするなど、難しい工程も見立てながら楽しんでいました。

『テントウムシ』を折り紙で表現♪



ロッカーの上でジェンガ



ゆりきく対決！マット運びリレー



みんながマットの耳を持ったか確認した後、「よいしょ！よいしょ！」と掛け声を出して友達と協力して運ぶ競争をしました。

ロッカーの上に作ることで、少しのカブラを積み重ねるだけで、自分達の目線になり、ジェンガができることに気付いて遊んでいました。

猫も家族にいるごっこ遊びを色々な場所でやってみたよ♪



姉・母役の子がスプーンや箸を使って料理や盛り付けをして、よくパーティが開かれています。ロッカーの中身を出し、その中に入ることで猫の家になることもあります♪

ごっこ遊びの場所を自分達で考え、布を並べて部屋にしていました。他の遊びをしていた子が、布の上に寝そべり、そこから遊びのやりとりが始まっていました。



夏の訪れを感じ、少しずつ水に親しんで遊ぶことが増えてきました。雨の日には、水遊びができる玩具を手作りしました。雨が降っているのを見て、水たまりができることを楽しみにしながら、『あめふりくまのこ』や『にじ』を歌っています♪



ペットボトルやカップなどに思い思いに模様を描いたり、穴を開けたりしました。穴の場所は水を入れてから考える子、遊ぶ中で増やす子もいました。

ペットボトルに穴を開けたことをヒントに、段ボールにも穴を開けました。木のボールを転がし、穴に落とさないように転がす遊びが始まりました♪

